

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 高畠町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	91.55	99.33	3,850	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,306	180.26	118.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
21,025	43.70	481.12

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 複数団体平均値（平均値）
【】令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率(%) 【107.26】
- ②累積欠損金比率(%) 【1.61】
- ③流動比率(%) 【239.69】
- ④企業債残高対給水収益比率(%) 【264.86】
- ⑤料金回収率(%) 【97.59】
- ⑥給水原価(円) 【181.66】
- ⑦施設利用率(%) 【60.21】
- ⑧有収率(%) 【89.21】

2. 老朽化の状況について

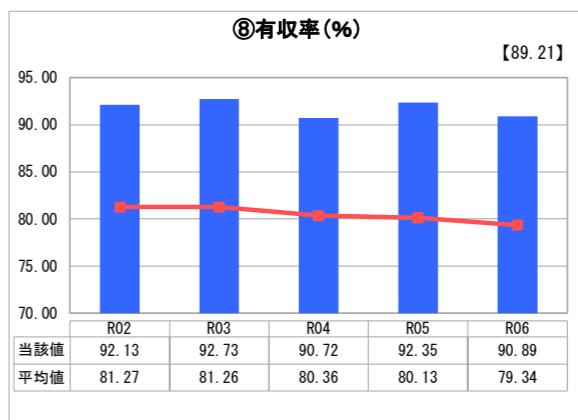
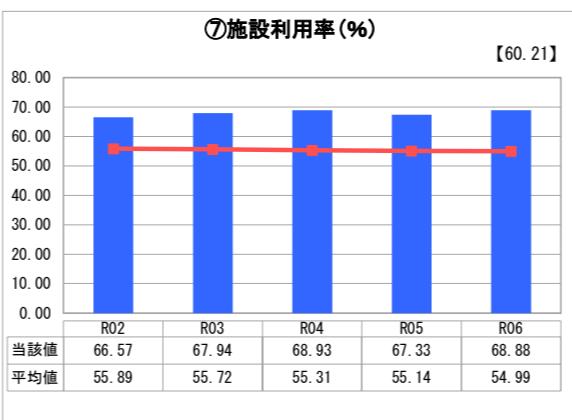
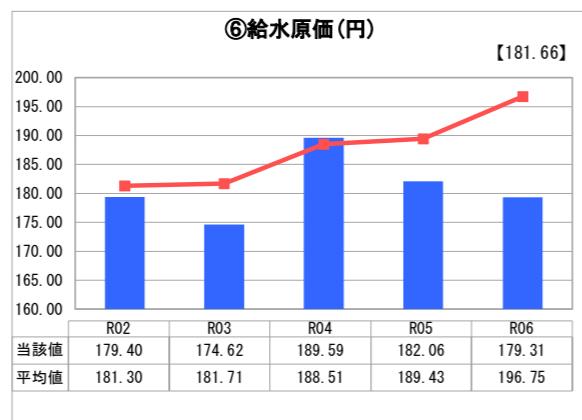
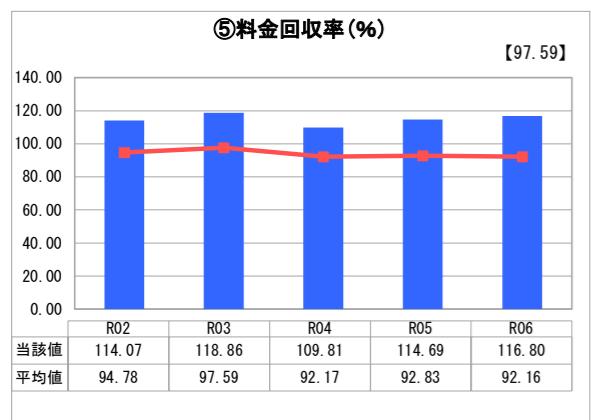
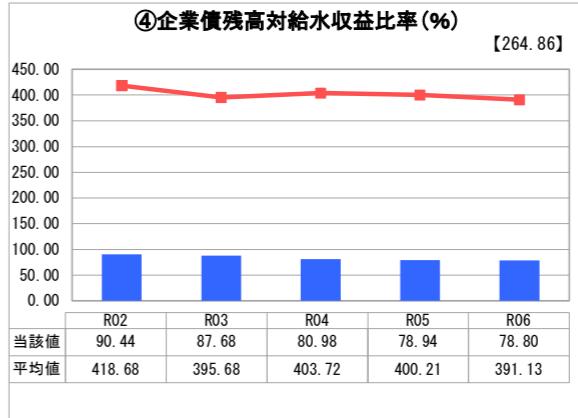
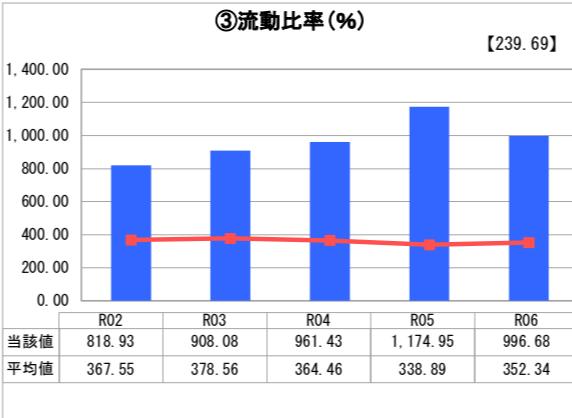
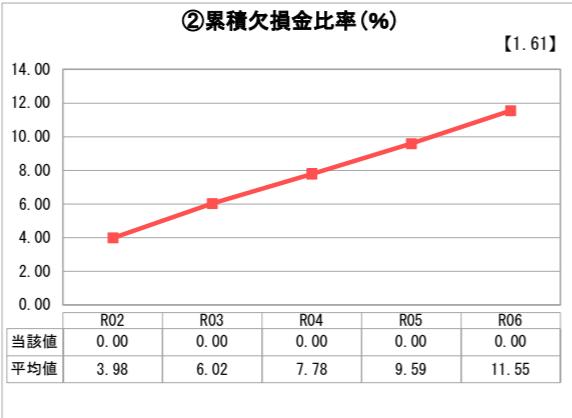
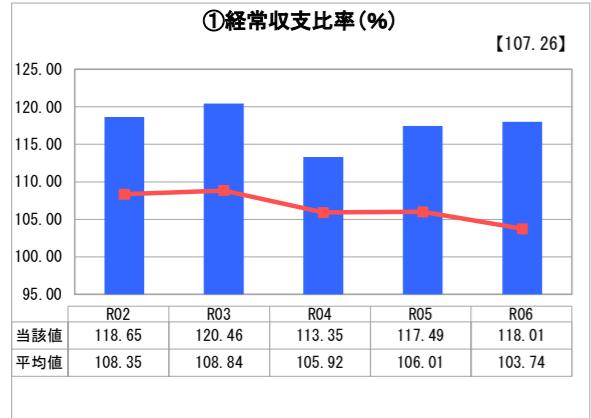
- ①有形固定資産減価償却率(%) 【52.41】
- ②管路経年化率(%) 【26.78】
- ③管路更新率(%) 【0.59】

全体総括

経営状況や収益状況は概ね良好であるが、物価高騰等により費用が増大しているため、支出内容の精査が必要である。また、施設の老朽化が進んでいることから、これまで蓄えた資金を活用して計画的な更新事業を行う必要がある。令和2年度からの重点事業であった高畠地区中心部の老朽管更新事業は完了したが、今後は令和7年度に経営戦略を見直し中長期的な計画を定め、老朽管や施設の更新を進めていく。

また、給水人口の減少、節水器具の普及により、料金収入が減少していく見込みであることから、将来的には、料金体系の見直しや広域連携による事務の効率化を検討する必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

